

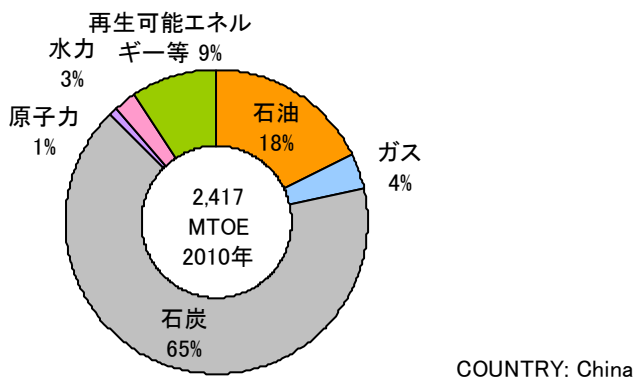
1-1 中国

1. サマリー

1. エネルギー事情

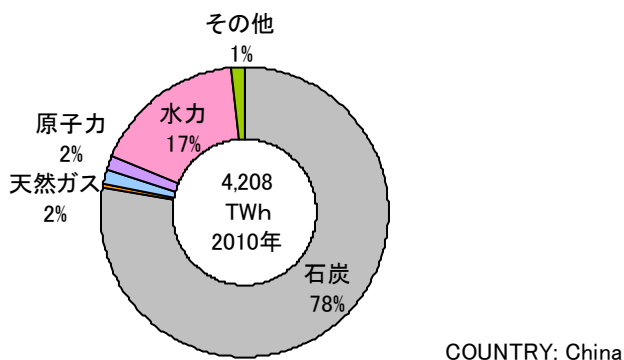
- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 2,417 百万 TOE (日本の 5.3 倍、世界第 1 位)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 1.8TOE (日本の 50%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 91 %
- (4) エネルギー起源 CO2 排出量 (2010年) : 72.6 億 CO₂ton (日本の 6.3 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO2 排出量 (2010年) : 5.39CO₂ton (日本の 60%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011 年末) : 原油 9.9 年、天然ガス 29.8 年、石炭 33 年

一次エネルギー供給構成 (2010 年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2010 年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 中国は、2008年3月に最高レベルでのエネルギー戦略決定、全般的な調整を担当する「国家エネルギー委員会」を創設した。また、同年8月に同委員会の事務局及びエネルギー行政全般を担当する「国家能源局」(英語名称: NEA/National Energy Administration)が発足した。更に、2010年1月、温家宝総理を初めとする関係閣僚の計21名のメンバーが決定され、「国家エネルギー委員会」が正式に発足した。

(2) 基本政策

- 2011年3月に全人代で採択された第12次5ヵ年規画(2011~2015年)では、経済発展モデルの質的転換に力点を置き、省エネの推進、環境友好型社会建設および低炭素型経済の確立が支柱となっている。

(3) 最近の動向

- 2011年3月に発表された『国民経済・社会発展に関する第12次5ヵ年規画(2010~2015年)綱要(以下、「第12次5ヵ年規画」と略。)]では、向こう5年間の経済成長率は7.0%と設定し、2015年までに非化石エネルギーの一次消費に占める割合を11.4%、2015年のエネルギー消費の対GDP原単位を2010年比で16%、CO2排出量を同じく17%削減することを明確にしている。
- 2012年10月、国務院常務会議は「エネルギー発展第12次5ヵ年規画」を議決し、1) 国内資源の探査開発強化、2) エネルギーの高効率でクリーンな転化の推進、3) エネルギー供給方式の変革の推進、4) エネルギーの貯蔵・輸送施設建設の加速化および備蓄と緊急対応保障能力の強化、5) エネルギー民生プロジェクトの実施および都市と農村に対するエネルギー公共サービス均等化の推進、6) エネルギー消費総量の合理的規制、7) 電力、石炭、石油・天然ガス等の重点分野における、エネルギー価格形成の仕組みの合理化、エネルギー分野への民間資本参入の奨励および国際協力を深化等によるエネルギーセキュリティの堅持、7大重点項目を挙げた。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日中間では、東シナ海の主権及び油・ガス田開発問題をめぐって、両国の主張は平行線をたどっている。他方、省エネ・環境分野における協力関係は1970年代にまで遡り、現在もなお、両国間において最も注目される新規ビジネス分野の一つとなっている。
- 両国は、「日中経済協議」、「日中エネルギー協議」、「日中省エネルギー環境総合フォーラム」等を定期的実施している。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	2,417 MTOE	
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	1.8 MTOE/人	
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.75 TOE/千\$	
(4)	エネルギー自給率	91 %	
(5)	エネルギー起源 CO2 排出量	7,217.0 百万 CO ₂ ton	
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO2 排出量	5.39 CO ₂ ton/人	
(7)	エネルギー源別構成率	石炭	
		65 %	
		石油	
		18 %	
		ガス	
		4 %	
		原子力	
		1 %	
		水力	
		3 %	
		再生可能エネルギー等	
		9 %	
(8)	エネルギーの輸入依存度	9 %	
(9)	石油の輸入依存度	53 %	
(10)	輸入原油の中東依存度 (2011年)	51 %	
(11)	原油輸入先 (2011年)	第1位	サウジアラビア (20%)
		第2位	アンゴラ (12%)
		第3位	イラン (11%)

(出所) (1) ~ (4) 及び (7) ~ (9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

(5) ~ (6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition

(10) ~ (11) は中国海関統計